

青 建 技 第 5 0 号
平成 2 2 年 6 月 2 2 日

各 協 会 の 長 殿

財団法人青森県建設技術センター
理 事 長 星 野 明
(公 印 省 略)

橋梁点検技術研修会参加者募集について（協力依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当センターの運営につきましては格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当センターでは、県内建設関係業に携わる方々に対しまして、青森県が制定した「青森県橋梁点検運営マニュアル(案)」及び「青森県橋梁点検ハンドブック」に基づき、橋梁点検業務に必要な技術の習得を図ることを目的に、「橋梁点検技術研修会」を下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、開催にあたり貴協会に所属する会員の皆様に広く受講していただきたく、別紙「橋梁点検技術研修会募集要項」を送付いたしますので、ご多忙とは存じますが、貴協会の会員への周知方ご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、当センターホームページ（URL:<http://www.akgc.or.jp/>）でも6月22日（火）に掲載することとしております。

記

1. 研修会日程
自：平成22年7月28日(水)
至：平成22年7月30日(金)
2. 添付資料
橋梁点検技術研修会募集要項

研修担当者：（財）青森県建設技術センター
業務部 研修試験課

担 当：阿部、富田
TEL：017-777-6545
FAX：017-777-6646
E-mail：m_tomita@akgc.or.jp



橋梁点検技術研修会募集要項

この研修会は、青森県が制定する「青森県橋梁アセットマネジメント運営マニュアル（案）」に基づいた橋梁定期点検に必要な技術の習得を主眼に実施するものである。

記

1. 研修会の内容

1. 目的

橋梁の細部にわたる異常や損傷を発見するとともに劣化・損傷の発見、劣化機構の推定、健全度評価を行うことのできる橋梁点検技術者を養成することを目的とする。

2. 日時

「橋梁点検技術研修会」

日時：平成22年7月28日(水)午前10時45分(受付10時15分から)～7月30日(金)午後1時頃

詳細：別紙-2 橋梁点検技術研修会プログラム(予定)

3. 会場

平成22年7月28日・29日 : 水産ビル 6階 研修室

平成22年7月30日 : 実地研修として青森市内対象橋梁

別紙.会場案内図参照(別紙-1)

会場には駐車場がございませんので、公共交通機関等をご利用して下さい。

4. 研修内容

別紙-2 [橋梁点検技術研修会プログラム].参照

5. 受講資格(年数は2級土木施工管理技士検定学科試験受験資格を準用)

学歴区分	土木設計・施工管理に関する実務経験年数	
	指定学科	指定学科以外
大学卒業後	1年以上	1年6ヶ月以上
短期大学・高等専門学校後	2年以上	3年以上
高等学校卒業後	3年以上	4年6ヶ月以上
その他	8年以上	

指定学科：(2級土木施工管理技士検定学科試験受験資格を準用：別紙-3)

6. 定員

80名(実橋点検研修を行うため、バスの定員40名×2台)

7. 受講料及びテキスト代

- ・ 受講料：50,000円/人(テキスト代、消費税含む)

8. 試験

- ・ 筆記試験
橋梁構造の基本的な知識に関すること。
橋梁の点検及び健全度評価、劣化機構の推定等研修内容に関すること。
- ・ 実地試験
青森市内の実橋を点検のうえ点検調書作成

9. 修了証

- ・ 全ての講義を受講(遅刻、早退は認めません)し、筆記試験及び実施試験に合格した方に修了証を交付します。

. 申込み方法

1. 申込み方法

- ・ 「受講申込書（別紙 4）、実務経験証明書（別紙 5）」に必要事項を記入の上、返信用封筒(返信先記入、80円切手貼付、サイズは12x23cm)を同封して下記申込み先（ . その他の2）宛郵送して下さい。
- ・ 申込みは個人毎に定型封筒(12x23cm)を使用して下さい。
- ・ 郵便のみの受付です。
- ・ 必要書類は、ホームページ の「橋梁点検技術研修会」から[受講申込書、実務経験証明書]をダウンロードして使用してください。
青森県建設技術センターホームページ URL：<http://www.akgc.or.jp/>
- ・ 受講申込書に貼付する顔写真の外に修了証に貼付する顔写真が一枚必要になりますので、合計2枚の顔写真が必要です。

2. 申込み期間

平成22年6月22日(火)～7月16日(金)

この期間の郵便消印のみを有効とします。

3. 注意事項

- (1) 宅急便は無効となります。
- (2) 大型封筒による一括郵送、返信用封筒の同封が無いものは無効となります。

. 受講者決定後の手続き

1. 受講者の決定

- ・ 受講希望者が定員を超えた場合は先着順とし、その結果を郵便で7月20日(火)に受講希望者全員に発送します。
- ・ 返信郵便が届かない場合は、下記申込み先（ . その他の2）にお問い合わせ下さい。
- ・ 受講決定者には、受講料納入通知書を同封します。
なお、修了証に貼付する顔写真を申込み時に同封しなかった場合は、受付時に必ず提出して下さるようお願いいたします。
(写真のサイズは、縦30mm×横24mmで、カラー写真。また、写真裏側に氏名・生年月日・所属企業名を記載してください。)

3. 受講料の納付

- ・ 受講決定者に受講料（テキスト代、消費税含む）の納入通知書を郵送しますので、**7月27日(火)までに**当センター指定銀行口座へ振り込み入金して下さい。
また、入金が確認できない場合は、受講資格を取り消します。
- ・ 研修会当日欠席された方には、
受講料納付後の返金はいたしませんのでご注意ください。
ただし、研修会に使用しましたテキストは郵送させていただきます。

4. 受講者の確認

- ・ 研修会の当日、「講習会納入通知書の控え（コピーでも可）」を持参し、受付で確認を受けてください。
- ・ 第一日目の受付時に上記写真を受付に提出してください。

5. 注意事項

- (1) 7月16日(金)以降の受講者の変更は認めません。
- (2) **受講料は返金しません**のでご注意ください。
- (3) 現地研修当日は下記を持参してください
 - ・ 筆記用具、定規
 - ・ ヘルメット

.使用テキスト

- ・ 橋梁点検技術研修会テキスト
- ・ 青森県橋梁アセットマネジメント運営マニュアル(案)
 - ・・・青森県県土整備部
- ・ 橋梁点検ハンドブック(1)橋梁点検のポイント
 - ・・・青森県県土整備部
- ・ 橋梁点検ハンドブック(2)定期点検の手引き
 - ・・・青森県県土整備部
- ・ その他
上記のテキストとともに研修会当日に配布いたします。

.その他

1. 宿泊施設は、各位で手配して下さい。
2. 申込み先

(財)青森県建設技術センター 研修試験課
〒030-0822
青森市中央三丁目21 9
TEL : 017-777-6545 FAX : 017-777-6646
事務担当者 研修試験課 : 阿部、富田

研修会会場について

研修会場：水産ビル6階 研修室
駐車場はございませんので、公共交通機関等をご利用下さい。

青森市安方 1-1-32
Tel : 017-722-4211



青森県庁

橋梁点検技術研修会プログラム

第1日目 7月28日(水) 研修会場：水産ビル 6階 研修室			
時間	内容	講師	
10:45～10:50	オリエンテーション		
10:50～10:55	開会挨拶	(財) 青森県建設技術センター 理事長	
11:00～12:00	青森県橋梁AM運営マニュアル	青森県県土整備部道路課 橋梁・アセット推進グループ	
12:30～13:30	昼 食		
13:00～14:30	橋梁点検ポイント	元青森県AMS開発コンソーシアム 点検・調査・診断WGリーダー 松村 英樹	
14:40～16:40	コンクリート橋の点検(下部工の点検を含む)		
第2日目 7月29日(木) 研修会場：水産ビル 6階 研修室			
9:00～10:50	鋼橋の点検	川田建設株式会社 保全事業部 参事	
11:00～12:30	損傷程度の評価例(H16年点検橋梁)	島辺 政秀	
12:30～13:30	昼 食		
13:30～15:10	筆記試験(橋梁構造の基本、点検の知識)	受講者	
15:20～16:20	橋梁点検の実務(点検作業の手順)	青森県県土整備部道路課 橋梁・アセット推進グループ	
第3日目 7月30日(金) 研修会場：水産ビル 6階 研修室及び現地研修会場			
08:30～08:45	集 合		
08:50～09:20	現地へ移動(バス)		
08:55～09:05	現地研修	事前説明	(財)青森県建設技術センター
09:30～11:40		実橋の点検	受講者
11:40～12:10	現地から移動(バス)		

都合により講師、プログラム等一部変更する場合があります。

指 定 学 科 に つ い て

指定学科については、2級土木施工管理技士検定学科試験受験資格を準用する。

【1】国土交通省令で定める学科及びそれに準ずると認める学科

学 科 コード	指 定 学 科			
01	土木（工学）科 開発工学科 環境整備工学科 建設技術科 建築土木科 社会建設工学科 土木環境工学科	海洋開発（工学）科 環境開発科 環境設計工学科 建設（工学）科 構造工学科 水工土木（工学）科 土木建設工学科	海洋工学科 環境建設科 建設環境工学科 建設工業科 資源開発工学科 地質工学科 土木建築（工学）科	海洋土木工学科 環境土木科 建設基礎工学科 建設システム（工学）科 社会開発工学科 土木海洋工学科 土木地質科
02	農業土木（学）科 農業開発科 農業工学科（ただし、東京農工大学・鳥根大学・岡山大学及び宮崎大学以外については、農業機械学専攻、専修又はコースを除く） 学科名に関係なく生産環境工学コース・講座・専修・専攻 学科名に関係なく農業土木学コース・講座・専修・専攻 学科名に関係なく農業工学コース・講座・専修・専攻	生活環境科学科 農業技術学科	生産環境工学科 農林工学科	地域開発科学科 農林土木科
03	森林土木（学）科	森林工学科	林業工学科	林業土木科
04	鉱山土木学科			
05	砂防学科			
06	治山学科			
07	都市工学科	環境都市工学科	都市システム（工学）科	
08	衛生工学科 環境（工学）科	設備（工業）科 空調設備科	設備工学科	設備システム科
09	交通工学科			
10	建築（学）科 建築設備工学科 造形工学科	環境計画学科 建築第二学科	建築工学科 住居科	建築システム科 住居デザイン科
11	緑地（学）科 緑地工学科 造園（学）科 造園緑地科	環境緑化科 緑地土木科 環境造園科 造園林学科	環境緑地科 林業緑地科 造園工学科 造園デザイン（工学）科	緑地園芸科 造園土木科

橋 梁 点 検 技 術 研 修 受 講 申 込 書

財団法人 青森県建設技術センター 理事長 殿

私は、「橋梁点検技術者研修受講申込書」の記載事項が事実であり正確であることを誓約します。

フリガナ				※整理番号			
氏 名	印			※受験番号			
生年月日	大正 昭和	年	月	日	(歳)	性別	男女
現住所	〒 ー						
	本籍地	都道府県		電話			
勤務先	住 所	〒					
	フリガナ						
	名称						
	部課名等						
最終学歴	学校・学部名						
	在 学 期 間	年 月		～	年 月		

注1. ※印の欄は記入しないでください。

橋梁点検技術者研修写真票

フリガナ			
氏 名			
受講番号	※		

写真添付欄
たて3.0cm
よこ2.4cm
1.全面にのりづけしてください
2.はがれる恐れがありますので、裏面に氏名を記入してください

年 月 日
撮 影

出欠状況		
第1日目	午前	※
	午後	※
第2日目	午前	※
	午後	※
第3日目	午前	※
	午後	※
※		

実 務 経 験 証 明 書

財団法人 青森県建設技術センター 理事長 殿

私は、「実務経験証明書」の記載事項が事実であり
正確であることを誓約します。

受験番号 ※	
提出年月日	
氏 名	
大正・昭和 年 月 日生	

年度	発注機関名	業務（工事）の名称	実施した業務（工事）内容	従事期間

注1. 各年度毎に代表的な業務について、1件記載してください。

注2. ※印の欄は記入しないでください。

平成	年度から平成	年度について、上記の通り相違ないことを証明します
平成	年 月 日	会社の所在地
		会 社 名
		代 表 者 名 [公印]
平成	年度から平成	年度について、上記の通り相違ないことを証明します
平成	年 月 日	会社の所在地
		会 社 名
		代 表 者 名 [公印]

現地研修会場 案内図

青森市内の予定です。

受講決定者に後日お知らせいたします